

科目名	Communication Practice I (前期 30 時間(90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	佐藤麻希 (実務経験：名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年・英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication Practice I は、ヒット曲を聴きながら英語特有の音声変化やリズムに慣れ親しみ、英語の基礎力をバランスよく向上させることを目的とします。総合的な英語力を伸ばすため、文法問題、読解問題、聞き取り問題にも取り組みます。スマートフォンを使ったモバイルラーニングを活用し授業の復習を促進します。この講義で学んだ英語力をもとにコミュニケーション力・会話力を身につけることを目標とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. Unit1 be 動詞、疑問詞を使った疑問文 2. Unit2 一般動詞 (現在形) 3. Unit3 一般動詞 (過去形)、否定文、疑問文 4. Unit4 進行形 (現在形、過去形) 5. Unit5 未来表現 (will, be going to の違い) 6. Unit6 助動詞、活用、否定文 7. Unit7 受動態の用法、不規則変化をする動詞 8. Unit8 現在完了形、否定文、副詞の活用 9. Unit9 比較 (比較級、最上級) 10. Unit10 分詞の用法 (現在分詞、過去分詞) (限定用法、叙述用法) 11. Unit11 不定詞の用法 (名詞的、副詞的、形容詞的)、慣用表現 12. Unit12 関係詞の違い (関係代名詞) 13. Unit13 接続詞・前置詞の活用、働きの違い 14. Unit14 動名詞の用法、慣用表現 15. まとめ (語彙と文法の小テスト)
使用テキスト ・教材等	Pop Hits! Taking Sides
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Communication Practice I (後期 30 時間(90 分/コマ)) 必修・選択
担当教官	佐藤麻希 (実務経験：名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年・英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication Practice I の後期は、前期で身につけた英語の基礎力を活用し、自分の意思を明確に表明できるようになることを目指します。そのために、視野を広げ、日本の社会を取り巻く様々な話題について書かれている記事について自分の考えをまとめて整理し、その整理した意見を英語でできるだけ明確に相手に伝えられるようになるための情報発信力を養うことを目標とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. Unit1 学生服は必要かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 2. Unit2 入試は必要かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 3. Unit3 飛び級の導入について。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 4. Unit4 福袋が必要か否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 5. Unit5 レジ袋の有料化について。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 6. Unit6 「隠れたお代」が許せるか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 7. Unit7 最低賃金を上げるべきか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 8. Unit8 消費税を上げるべきか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 9. Unit9 クレジットカードを使うべきか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 10. Unit10 食品表示の厳格化について。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 11. Unit11 食料自給率を上げるべきか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 12. Unit14 死刑は廃止すべきか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 13. Unit16 ネットの違法ダウンロードについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 14. Unit14 第 1 講から第 13 講の中から一つテーマを選び、より深い意見を考え発表する 15. まとめ (語彙と文章小テスト)
使用テキスト ・教材等	Pop Hits! Taking Sides
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Hospitality Service English I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・選択
担当教官	村田愛美 (実務経験: オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日本特有の文化と技術を題材にして、様々な英語表現を学びます。シャドーイング練習やクラスメイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。 会話表現に重点を置き、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Long-Established Businesses -Report 2. Long-Established Businesses -Studio Discussion 3. Uniforms -Report 4. Uniforms -Studio Discussion 5. Volunteer Work -Report 6. Volunteer Work -Studio Discussion 7. High-Tech Living(Automobiles) -Report 8. High-Tech Living(Automobiles) -Studio Discussion 9. Discussion 10. Japanese Tableware -Report 11. Japanese Tableware -Studio Discussion 12. Homemakers of Japan -Report 13. Homemakers of Japan -Studio Discussion 14. Seafood -Report 15. Review
使用テキスト ・教材等	Discovering Cool Japan
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Hospitality Service English I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・選択
担当教官	村田愛美 (実務経験: オーストラリアの商社にて 3 年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日本特有の文化と技術を題材にして、様々な英語表現を学びます。シャドーイング練習やクラスメイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。 会話表現に重点を置き、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Seafood -Studio Discussion 2. Voice Actors -Report 3. Voice Actors -Studio Discussion 4. Japanized Foreign Dishes -Report 5. Japanized Foreign Dishes -Studio Discussion 6. Bags -Report 7. Bags -Studio Discussion 8. Discussion 9. Senior Citizens (Medical Checkups) -Report 10. Senior Citizens (Medical Checkups) -Studio Discussion 11. Money -Report 12. Money -Studio Discussion 13. Monkeys -Report 14. Monkeys -Studio Discussion 15. Review
使用テキスト ・教材等	Discovering Cool Japan
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	児童英語教育 I ① (前期 30 時間 (90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	田邊 美由紀 (実務経験: (株) ジェイアール東海ツアーズ営業部にて約 4 年、その後約 20 年に渡り英語の教務・運營業務に携わる。現在 (株) えいごラボ代表)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していける質の高い指導者の育成を目指す。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修 (インターンシップ) を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与えることとする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語教育について 2. 言語習得についての基礎知識 1 3. 言語習得についての基礎知識 2 4. 言語習得についての基礎知識 3 5. 外国語活動の指導法 1 6. 外国語活動の指導法 2 7. 外国語活動の指導法 3 8. 外国語活動の指導法 4 9. 外国語活動の指導法 5 10. 外国語活動の指導法 6 11. 外国語活動の指導法 7 12. 外国語活動の指導法 8 13. 外国語活動の指導法 9 14. 外国語活動の指導法 10 15. 前期のまとめ
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書(mpi 松香フォニックス出版)</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY (ピアソン・ジャパン出版)</p> <p>リズムで覚える教室英語ノート (mpi 松香フォニックス出版)</p> <p>New Let's Sing Together SONG BOOK (アプリコット出版)</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験 (模擬レッスン) による評価 80 点、平常点 20 点により評価 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善、考案や英語力向上のために何ができるかを常に意識すること

科目名	児童英語教育 I ① (後期 30 時間 (90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	田邊 美由紀 (実務経験: (株) ジェイアール東海ツアーズ営業部にて約 4 年、その後約 20 年に渡り英語の教務・運營業務に携わる。現在 (株) えいごラボ代表)
学科・学年	英語本科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	「J-Shine 認定 小学校英語指導者資格」の指導者育成認定団体、認定科目として、授業の計画、展開方法を小学校学習指導要領、その他各教育現場に応じて、実例に基づき指導。講義内容の充実、実技指導時間の拡充を図り、校内での英語科目と合わせて、受講生の英語力を高め、各教育現場、教授スタイルに柔軟に対応していける質の高い指導者の育成を目指さず。既定の推薦規準を満たした者には、小学校英語指導者資格の準資格を付与し、50 時間の実地研修 (インターンシップ) を行った者には、小学校英語指導者資格の正資格を与えることとする。
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外国語活動の指導法 11 2. 外国語活動の指導法 12 3. 外国語活動の指導法 13 4. 外国語活動の指導法 14 5. 外国語活動の指導法 15 6. 語彙定着の方法 1 7. 語彙定着の方法 2 8. 語彙定着の方法 3 9. 文型定着の方法 1 10. 文型定着の方法 2 11. 文型定着の方法 3 12. 教材の選定方法 13. 保護者対応について 14. 保護者対応について 15. 後期のまとめ
使用テキスト ・教材等	<p>小学校英語 はじめる教科書(mpi 松香フォニックス出版)</p> <p>LONGMAN CHILDREN'S PICTURE DICTIONARY (ピアソン・ジャパン出版)</p> <p>リズムで覚える教室英語ノート (mpi 松香フォニックス出版)</p> <p>New Let's Sing Together SONG BOOK (アプリコット出版)</p>
成績評価方法 及び 基準	実技試験 (模擬レッスン) による評価 80 点、平常点 20 点により評価 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	英語力だけでなく、英会話力の向上にも積極的に取り組んで欲しい。同時に英検 2 級、TOEIC600 点以上を取得すること。
履修に 当たっての 留意点	児童英語講師を目指すものとして、学習方法の改善、考案や英語力向上のために何ができるかを常に意識すること